

MESSAGE 代表メッセージ

これまで・そしてこれから

海と船と釣りに関わることを自らの生業として50年になります。伊達政宗公に由来する貞山運河、御舟入堀千賀の浦沿いに生まれ育ち生業もまた同じく海辺と共にありました。運河に15mほど面した小さな船揚げ場で、小型船上架の手動ウインチ巻きや盤木やコロ運びなどは、1960年のチリ津波の頃から手伝っていた記憶があります。モーターボートと言われる小型船舶が一般にレジャー用として普及し始めていた1973年私の海の初めての体験がありました。V8フォードベースエンジン音とともにオープンボートで海面を疾走する爽快感は今でも強烈な記憶として脳裏に常に存在し続けています。

「海の初めての体験インパクト」と「1960年チリ津波被災」この二つのことは事業を始めることと選択が必要な際の要因となりました。

小型船舶の販売修理を業務として独立し、1980年当時始めたことは、他社競合を避けることを前提に小型漁船の主に船外機のアフターサービス業者がいなかった離島へ修理に通うことでした。必要とされ、継続すること、このことを塩竈市浦戸諸島域で実践し続けています。このことはバーバスブランディングへ取組むうえで最も大切な一つとして、現在のあらゆる業務においても実践し、地域社会に必要であり続けることを存在の理由としています。

1992年、塩竈市北浜の千賀の浦であらにマリーナ事業を始めることを機会として、お客様に大きな感動の機会を提供する釣りメニューの一つとしてビッグゲームへの取組を始めました。

金華山海域は、世界三大漁場の一つに数えられる豊かな海です。スポーツフィッシングの対象魚であるビルフィッシュ、カジキが黒潮の北上とともに来る海です。海域では、グジラやイルカの群れ、運よくジンベイザメにも出くわすこともあります。巨大なマンボウ、そしてマンタそっくりの巨大なエイのジャンプ、熱狂する鳥山の下のマグロやカツオの群れにも当たり前前に遭遇します。この生物の躍動感にあふれる豊かな金華山海域の魅力を経験していただき、さらにスポーツフィッシングビッグゲームの達成感、これをお客様に伝えることをライフワークとして継続

しています。自分自身が得た大きな感動を一人でも多くの人に知っていただき大自然の醍醐味を共有できることに喜びとしての価値観を持っています。

「金華山海域での初めてのビッグフィッシュ」この機会をご提供させていただくこともマリーナ業務としての大切なスピリットです。

1982年竣工したばかりの塩竈港を拠点とした、巡視船ごさう搭載KQ艇のV8ガソリンエンジンの原因不明故障を私が簡単に修理したことを機会に海上保安部の船舶修理業務が始まり現在も継続しています。緊急対応や定期整備等を受注し業務を積み重ねる実績から海上安全指導員や海上防犯連絡員の指名があり、更にマリーナは、日本水難救済会の塩竈救難所としての役割を担い継続しています。海の安全にかかわるVHF無線の海岸局運用と救難所としての役割は、職業上の社会活動として位置づけし進化させたいと考えています。

地域社会活動としては、塩竈市離島の一つ寒風沢島に大震災復興祈念緑地を整備しました。千賀の浦マリーナ域では冬季イルミネーションを大震災年から継続しています。市内児童を対象とした「湾ダフルしおがま海体感会」開催は、地域のガマの協力をいただき、カヌー体験や生き物の観察など地域の海に親しむ機会を提供しており、更に発展的に継続したいと考えています。

海での安全に関わること、ボートフィッシングの健全さの追求、環境に関わる事、海の豊かさを守ることを大切として、SDGsを宣言しバーバスブランディングに取り組むことが地域に根差し続ける企業としての目的と考えています。

会社設立から40年の節目としての会社案内リーフレット作成にあたり、これからの10年、20年のための、くろしおフィロソフィー紹介へ寄せる代表者メッセージとさせていただきます。

株式会社 くろしお 代表取締役 鈴木 雅博

SERVICE GUIDE

サービス案内

●スタッフ同行メニュー

マリーナスタッフがお客様の「海のある生活」をあらゆるジャンルでフォローさせていただきます。

マリーナ利用 会員

- ベテランでも緊張する松島の景勝地クルーズや離島めぐり等の航海補助など
- 金華山や牡鹿半島方面エリアへの航海練習や観光・釣り体験などのサポート
- ビッグゲーム釣行時のクルーとしてキャプテンのフォロー

■ペイト釣り・ルアー釣り・曳き釣り・サビキ釣り・あらゆるジャンルの釣りメニューのレクチャーと釣りポイントへの案内を含めてキャプテンをサポート

●ビッグゲームセミナー

オーナーボートビッグゲームセミナー

オーナーボート

■ビッグゲームのハウツー全てを実践でレクチャー、タックルが無い場合は持込でのセミナーも可能

●その他マリーナ利用艇のサービスメニュー

○帰港時のもやいとり(着岸時TEL) ○船体塩抜き洗浄 ○船体のクリーニング ○船体の磨き ○給油代行 など

施設利用

■年間利用契約者を対象にデッキルームや研修室をご利用いただいています。研修やバーベキューパーティーなどにご利用頂いております。

その他にも、松島湾観光、牡鹿半島クルーズ、マダイやヒラメ・ワラサ釣り、カジキ釣りなど多くの初体験をサポートしています。

北浜マリンベース・マリーナ業務ご案内

●塩竈救難所

公益社団法人日本水難救済会 宮城県水難救済会「塩竈救難所」

●国際VHF無線 海岸局

「くろしおVHF無線協会」として免許を取得し無線局を運営。洋上の安全確保・情報確保・緊急通信に有効、外洋では必須設備の国際VHF無線の基地。呼び出し符号は、「きたはままりんべす」

●レンタルボートクラブ

ヤマハマリンクラブ「シースタイル」のホームマリーナとしてレンタルボートを運営(仙台湾の釣りの魅力に東北各地や関東地区会員の利用も活発)

●免許試験会場

小型船舶操縦免許の国家試験の学科試験及び実技試験の会場の設置

●クラブ事務局

「くろしおフィッシングクラブ」の事務局として32年にわたり活動をバックアップ

●BOL事務局

「ボートオーナーズリーグ」通称BOLの北日本としてビッグゲーム活動を支援

●環境保全回復活動

「松島湾アマモ場再生会議」協力マリーナ

●業界関連業務

一般社団法人日本マリン事業協会 東北地区南分会長の関連業務
海上保安部より安全指導員・パトロール艇の指定による関連業務

●レスキュー体制

救助船 FG54「恵比寿丸」・30「恵比寿丸」・YD32「アマモ丸」の運用

●一般業務

小型船舶の販売・保管・定期整備・修理・船舶検査代行 機関換装・船体エンジンリニュアル工事・改造工事・SUS及びFRP工事 海上保安庁の搭載艇等の整備 指定工場の運営と緊急修理対応



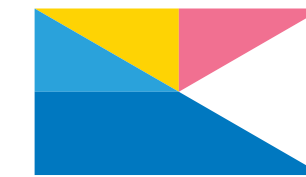
〒985-0003 宮城県塩竈市北浜4丁目71番10号 tel:022-365-3220 fax:022-365-3244



https://www.kuroshiomarine.co.jp



はじめよう海のある生活



KUROSHIO

株式会社 くろしお設立40周年

COMPANY PROFILE



PROFILE

会社概要

会社名	株式会社 くろしお
代表者名	鈴木 雅博
本社所在地	〒985-0003 宮城県塩竈市北浜4丁目71番10号
施設名	北浜マリンベース
設立	昭和59年12月22日
資本金	4,000万円
事業内容	舟艇製造販売修理、船用機関販売修理、マリーナ業務
人員体制	常勤役員5名、社員12名、常勤専門職2名
主要取引先	一般企業個人、漁業組合、第二管区海上保安部
主取扱いメーカー	ヤマハ、ヤンマー、トヨタ、スズキ
主取引金融機関	七十七銀行、社の郵便金庫、日本政策金融公庫
イベント拠点	くろしお御舟入艇フリート 〒985-0823 宮城県宮城郡七ヶ浜町遠山5丁目4番12号

北浜マリンベース施設概要

占用域	海域10,000㎡ 陸域10,000㎡
艦装修理工場&事務所	980㎡
クラブハウス棟	400㎡ (研修室2、トイレ、シャワー、テックルーム)
海上パース	70隻 給水陸電付
陸上	100隻
駐車場	40台
上架能力	30トンまで



沿革

1960年	宮城郡七ヶ浜町真山運河沿いで鈴木造船所名で小型木造漁船製造、上架修繕業始める
1964年	ラワン合板小型和船製造販売
1970年	FRP製小型和船製造
1980年	商号を宮城ポートマリーナへ変更
1981年	プレジャーボート船外機販売開始
1984年	商号変更、有限会社くろしおを設立 ポート保管業務始める
1989年	ヤマハ発動機(株)の特約店となる
1992年	塩竈市北浜1丁目へ仮設マリーナ「北浜マリンベース」開業 塩竈市を拠点に金華山海域でカジキピックゲームへ取組開始
1996年	株式会社くろしおへ組織変更
2007年	仮設マリーナから現北浜マリンベースへ移転
2018年	北浜マリンベース海域1万㎡、陸域1万㎡利用開始
2024年	本社を塩竈市北浜に移転

北浜マリンベース海関連業務

宮城県水難救済会 塩釜救難所
海上安全指導員
国際VHF無線海岸局
くろしおフィッシングクラブ事務局
JGFA BOL北日本事務局
小型船舶免許国家試験会場

KUROSHIO PHILOSOPHY

存在の理由

- 海のある生活をより豊かにするため
- 海と船にかかわる人々に必要とされること
- 海の恵みを理解体験できる機会を提供すること

経営の方針

- 経営の透明化により事業を継続できること
- 社員と役員双方が成果を分かち合えること
- ステークホルダーから信頼と共感を得られること
- 会社のSDGs宣言の質と範囲を広げ続けること
- お客様のニーズに応えるため常にチャレンジャーであり続けること

MISSION ミッション(日々果たすべき使命)

- お客様の満足度を追求し続ける整備・艦装・接客に徹しよう
- 日々の打合せを密にし組織力を上げよう
- PDCAサイクルをまわし続けよう
- 3Sの実践・3Mの解消・事故クレームゼロを実践しよう

VALUE バリュー(約束する価値・強み)

- 安全と安心を追求しクレームゼロへ
- 最新・高品質のオリジナル艦装を提供し続ける
- 金華山ステージピックゲームサポートを継続する
- お客様の海の初めてをサポートする



VISION ビジョン(実現したい未来)

- 海の豊かさをだれもが体感できる施設づくりと運営を目指す
- 千賀の浦の魅力創造による地域活性を目指す
- 持続可能な経営に徹し社会に必要とされ続ける企業であることを目指す

SPIRIT スピリット(大切にすべき精神)

- お客様の喜びと満足感は私たちのエネルギー
- すべての業務、何事も常にチャレンジャーであれ
- 海と船の楽しさと感動ある体験機会を提供し続けよう

SLOGAN スローガン(ブランドの合言葉)(インナーブランド)

- くろしお北浜マリンベースをNo.1ブランドにしよう
- 絶対安心、絶対安全を実践しよう
- 誇りと自信をもてる仕事に徹しよう
- 問題探しに徹しよう、もっといいはないのか追求し続けよう
- CS・カスタマーサティスファクションNo.1を目指そう(顧客満足度)

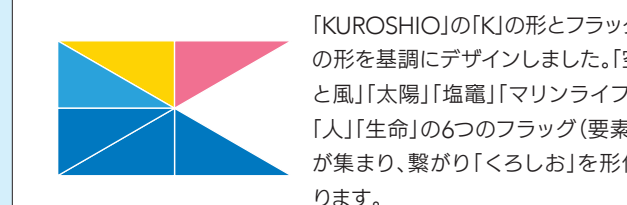


SDGs宣言

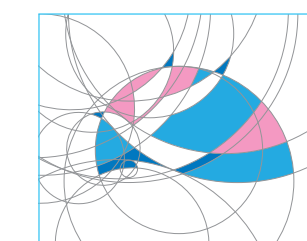
私たちはSDGs達成に向けた取組を宣言します。

取組カテゴリ	SDGs達成に向けた重点的な取組テーマ	取り組みの内容	関連が強いSDGsゴール
環境	生物多様性	生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮した取組を実施しています。 [湾ダフルしおがま・海体感会]の一環として稚魚の放流を実施 注。「湾ダフルしおがま・海体感会」とは、海辺の豊かな環境を体験し、海の楽しさや環境保全について学びながら、地域の海辺に関わる「人材」と「観光資源」を育てることを目的に開催しているイベント。	6, 14
製品サービス	環境配慮 社会課題解決への貢献	自然と人の調和を目指し、環境に対する配慮を積極的に取り入れながら、環境保全に注力しています。 ・松島湾アマモ場再生会議と協力し、アマモを育て海へ戻す取組を実施 ・海に捨てられ流れ着いた漂着ゴミの清掃	6, 7, 14
社会貢献 地域貢献	社会への影響の配慮 持続可能な地域づくり	地元自治体や地域住民の皆さまをはじめとする地域社会と協力し、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。 ・塩釜救難所や海上保安部と連携したレスキュー体制が整っており、救助船を運用した海上パトロールを実施 ・「湾ダフルしおがま・海体感会」の一環として落水訓練を実施 ・国際VHF無線局を運営し、洋上の安全確保、情報確保、緊急時の通信対応が可能	

シンボルマークの意味 塩竈・千賀の浦で、海のある豊かなくらしを提供する「くろしお」と「北浜マリンベース」を表します。



「KUROSHIO」の「K」の形とフラッグの形を基調にデザインしました。「空と風」「太陽」「塩竈」「マリンライフ」「人」「生命」の6つのフラッグ(要素)が集まり、繋がり「くろしお」を形作ります。



「ウミネコ」をアイキャッチに「塩竈」の「海」「空と風」「マリンレジャーの楽しさ」を表現。正円が交わり作り出される造形は「円」が「縁」を意味し、多くの縁を繋ぐ「北浜マリンベース」を表します。

●海 ●空と風 ●塩竈(塩竈桜の色)、マリンレジャーの楽しさ